

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式									
E132E003		国語科授業研究(中等)(Studies in Teaching of Japanese Language (Junior High School))																
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修		2	4	教育学部 平成31年度以前入学生用			氏名 花坂 歩 E-mail hanasaka-ayumu@oita-u.ac.jp 内線 7534											
授業の概要		戦後の文学教育理論の実践的探究を通して、新しい時代に求められる国語の授業を構想できる専門的知識と実践力を養う。																
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1 子供の認識や思考、学力などの実態及び適切な評価の方法を理解している。									○									
目標2 国語科教育の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。										○								
目標3 情報機器及び教材の効果的な活用を考えながら、時代に対応した学習指導案を作成できる。											○							
目標4 国語科教育学史を踏まえ、他教科への応用性がある授業を設計できる。												○						
目標5																		
目標6																		
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1 戦後国語教育史(概観)																		
2 現代の学力観(1)～キーコンピテンシーの理解～																		
3 現代の学力観(2)～PISA型読解力の理解～																		
4 情報機器及び教材の効果的な活用																		
5 「言語教育と文学教育」論争の再考察																		
6 教科研方式の「読み方教育」の再検討～指導案作成と模擬授業を通して～																		
7 太田正夫の「十人十色の文学教育」の再検討～指導案作成と模擬授業を通して～																		
8 大河原忠蔵の「状況認識の文学教育」の再検討～指導案作成と模擬授業を通して～																		
9 西郷竹彦の「関係認識の文学教育」の再検討～指導案作成と模擬授業を通して～																		
10 大村はまの「単元学習」の再検討～指導案作成と模擬授業を通して～																		
11 児童言語研究会の「一読総合法」の再検討～指導案作成と模擬授業を通して～																		
12 井関義久の「分析批評」の再検討～指導案作成と模擬授業を通して～																		
13 読み研の「国語科授業の改革」の再検討～指導案作成と模擬授業を通して～																		
14 諸外国に見る「読むこと」の教育～米英の実践研究の成果をもとに～																		
15 総括																		
ラック ニティ グ		A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造		○ ○ ○ ○		毎回の指導案作成と模擬授業に取り組みながら、国語の授業を体験を通して論じられるようにする。		工夫 その他										
時間外学習 の内容と時間 の目安		準備 学修	指導案の作成及び模擬授業の練習。(30h: 毎回2h程度)															
		事後 学修	指導案の修正、レポートの作成。(30h: 毎回2h程度)															
教科書		中学校学習指導要領(平成29年 文部科学省)、中学校学習指導要領解説国語編(平成29年 文部科学省)、高等学校学習指導要領(平成30年 文部科学省)、高等学校学習指導要領解説国語編(平成30年 文部科学省)																
参考書		『戦後国語教育問題史』(田近洵一、大修館書店、1991)																
成績 評価 の方法 及び 評価 割合	評価方法						割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10	
	各回の小考・提出物						40%	○	○	○	○							
	指導案・模擬授業						40%	○	○	○	○							
	定期試験・レポート						20%	○	○	○	○							
注意事項		なし																
備考		なし																
リンク																		
		URL																

担当教員の 実務経験の 有無	○
教員の実務 経験	およそ10年の公立高等学校の教諭経験あり。
実務経験を いかした教 育内容	現場実践を念頭においた指導案作成、模擬授業指導を行う。